

季節風

2015.12.18

No.35

山鹿市立鹿北中学校

文責：郡 一路

◇二年生、沖縄修学旅行◇

「いのちを見つめ、くらしにつなげる」

沖縄の学びを未来に生かす挑戦

一日目〈平和学習〉

ひめゆりの塔・平和祈念資料館・糸数壕・平和祈念公園・平和セシモ二一・平和の礎・講話

たくさんの方の亡くなった人のことを資料館や平和の礎で見て、その人数の多さに驚きました。

ひめゆり学徒隊は危険なところだけで嫌な仕事をさせられていたのがわかりました。実際に戦争を体験された方の話を聞いて治療する道具も少ないし、どんどん悪化するだけで病院壕は名前だけだということを教えてもらい、自分の命は大切にしなければいけないとあらためて学びました。

糸数壕は大きくて中は真っ暗だった。怖くて息苦しい感じで、話を聞いて、当時は怪我をした人がたくさんいて、水も食料もなく、地獄のようなものだったと聞いた。恐ろしく感じた。

軍隊の人から「死んで」と言われたり、自分が「弾に当たりたい」と思っていたことを知り、どれだけ辛かったのが伝わってきました。「人間が人間じゃない」と何度もおっしゃっていて、それほどに苦しい戦争だと思いました。今、私が生きている社会はとも幸せだと思いました。もつと私の周りの人を大切にしたいです。

当時の人がどんな気持ちで生活していたかなどを考えることができた。

亡くなられた人も、生きている人もつらい思いをしているので、戦争はもう二度と起こしてはならない。自分が生まれて、今に生きていることを幸せに思っています。

二日目〈文化・自然〉

嘉手納基地・ふれあい体験学習・美ら海水族館

周りの住宅地は、音が聞こえて「うるさい」と思いました。



何より飛行機がうるさかったです。毎日、こんなに大きい音を聞いていると、耳が悪くなりそうなお気になっていました。移動中のバスに中で外を見ていたら、すぐそこを基地の飛行機が低空飛行していて、とても怖く感じました。

私は、シーサーを作りました。土台の所は作ってあって、私たちは顔と胴体模様をつけました。みんなが作ったシーサーを見ると、その人の個性が出ていたので違う顔の物ができました。どれもかわいかったです。

美ら海水族館は、とても魚の種類が多く、サンゴもきれいでした。そして、一番人気のジンベイザメは、生で見ると、とても大きかったです。よかったです。他にもサメについて知ったり、クジラやダイオウイカなども見られてよかったです。

三日目〈世界遺産・観光〉

首里城公園・国際通り

当時の王様が使っていたお皿や王様が座っていたいすなどを見ました。昔、首里城に住んでいた人たちは、どんな暮らしをしていたのかを知ることができました。

中国風の建物がとても広かったの、城という感じがすごかったです。楽器とか王様の絵もありました。外に見える景色がとてもきれいでした。王様が高いところからあんなにきれいな景色を見ていたんだなあと思いました。

班で話し合っ、自分たちで行きたい所に行くことができました。ちんすこうや芋タルトは有名で、私も買いましたが、塩屋で、ゆず塩や辛い塩を買いました。ふりかけとしても使えるので家で使いたいです。

出会い・発見・感動

一泊三日の修学旅行。二年生は、たくさん学びと思い出を持ち帰ってきてくれました。修学旅行の学年テーマの下に、出会い・発見・感動という言葉が書かれています。もう一度この言葉の意味を考えてみましょう。この言葉は、別々の言葉のようですが、一つのつながりのある言葉としても捉えることができます。「出会い」を通して様々な「発見」があり、そして、出会いと発見があるからこそ、そこに「感動」が生まれる。そんな風にも捉えることができます。今回の修学旅行を通して、沖縄の歴史・文化・自然・人々：との出会い、自分自身や友だちの新たな一面の発見、そして、そこに感動があったはずなんです。これから先も、たくさん「出会い」と「発見」を通して、「感動」のある生き方を大切にしていきましょう。